

外観



1990年7月竣工のマンション2Fフロアに認可保育園として開園。
トイレの改修期間中は、近くにある区の施設を臨時保育室として活用した。

保育室



木をふんだんに使った、温もりを感じさせる保育室。遊具や玩具など木製のものが多く床は床暖房になっている。奥に見えるのは2歳児用トイレ。

沐浴室（改修前）



流し台の高さが高いため、子どもたちを抱き上げるのが大変だった。
また1槽式のため、シンクの中にベビーバスを入れて使うなど、使い勝手が悪かった。

沐浴室（改修後）



浴槽の高さが低くなり、子どもたちを抱き上げるのが楽になった。
また、2槽式になったことで、お尻を洗うなどの作業が楽になった。沐浴槽の横には保育士用の手洗器を設置している。

1歳児トイレ（改修前）



1歳児と2歳児の保育室を分けていたため、トイレもそれぞれに設置していた。
その後、同じ保育室で1・2歳児の保育を行うようになったため、2ヶ所のトイレを1歳児と2歳児が一緒に使えるようにしたかった。

1歳児トイレ（改修後）



子どもたちの体格・成長にあわせて使い分けができるように、1-2歳児用と3-5歳児用の大便器を設置。幼児用小便器も設置している。

手洗いコーナー（改修前）



改修前は、奥行きがあるため、手洗器の蛇口に手が届かない子どもたちがいた。

手洗いコーナー（改修後）



奥行きがコンパクトな手洗器に変更したことで蛇口に手が届くようになり、子どもたち一人で手洗いができるようになった。水栓金具はひねる動作が少なくなった社会なので、指先の運動になるようにハンドル式を採用。

2歳児トイレ（改修前）



区の定期監査で保育室とトイレを間仕切るように指摘があった。また小便器を使う際に、子どもたちのお尻を支えてあげる手伝いが必要だった。

2歳児トイレ（改修後）



腰壁・ガラス・引戸で間仕切りされた、明るく開放的なトイレ。グリップ付小便器を採用したことにより、おしっこの時に子どもたちを後ろから支える手伝いが不要になった。

建築概要

名 称	どんぐり保育園
所 在 地	東京都文京区千駄木 2-48-4
施 主	社会福祉法人くぬぎの会
設 計	TOTOアクエア株式会社
施 工	TOTOアクエア株式会社
工 事 期 間	10日間
竣 工 年 月	(改修)2014年1月

水まわりの特長

<建物の特徴>
どんぐり保育園は、1990年に新築マンションの2Fフロアに開園。「楽しい心安らぐ保育園」「安心して預けられる保育園」「働くこと、子育てすることが楽しくなる保育園」を目指して0歳～2歳までの乳児保育を行っている。

<改修の経緯>
沐浴槽が1槽式で使い勝手が悪かったこと、また区の定期監査で「感染対策として保育室とトイレを間仕切ること」という指導を受けていたこともあり、TOTOから案内があったキッズセミナーを聴講。同セミナーで提案された、子どもたちの体格にあった器具を採用することの重要性を認識し、沐浴槽とトイレ、手洗いコーナーの改修を行った。改修工事中は区の施設を臨時保育室として借りることで、園を運営しながら改修ができた。

<トイレの特長>
感染対策として保育室とトイレを、腰壁・ガラス・引戸で間仕切り。従来1歳児と2歳児別々だった保育スペースを一緒にしたことに伴い、1歳児用と2歳児用のトイレ両方に、それぞれ異なる高さの大便器を設置。どちらも1・2歳児が使えるようにしたこと、子どもたちのトイレ誘導がしやすくなった。また沐浴槽を2槽式に改修し、お尻を洗うなどの作業が楽になった。